

## 悉皆金色



### 「悉皆金色の願」

阿弥陀如来の四十八願の第三願は「悉皆金色の願」と言い、「我れ仏を得たらんに、國中の人、天、ことごとく真金色ならずんば、正覚を取らじ」と願われています。

金銀銅。一番強いのが金メダル。一番高いのは金貨。一番大切なのが金の指輪。では、お浄土に生まれる私達は、一番にならなければ往生できないのでしょうか。往生したら一番になるのでしょうか。

金なのか銀なのか銅なのか。比べているのは私達です。区別のない、平等な、分別のない阿弥陀さまの眼差しは、私達すべてが夫々に一番に金色に輝けることを見抜いてくださるのです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我儼昭現下のご染筆です。前々号の色紙は、北海道茅部郡在住新山徳次様に進呈します。ご希望の方は八方まで住所氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

信心堅固



「自帰依」

自分の「自」の字は鼻を象つたものという

そう

鼻を指さして

自慢していたい自分がいる

しかし

なかなかそうとはならず

不安や苦惱が尽きない

己を知らず

我を前面に出せば

おのずと他との軋轢を生む

仏道は

己を知ること

世の法を知ること

法に裏打ちされた

自己こそが

かけがえのない

寄辺となり道標となる

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は菅長久我嚴昭祝下のご染筆です。前々号の色紙は、京都府京都市在住野口陽子様に進呈します。ご希望の方は八ガキで住所氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し名に進呈。

### 孝養父母

#### 孝養父母

「孝養のころをもちて、ちちははのおもくし思はんひとは、まず阿弥陀仏に預けまいらすべし。」

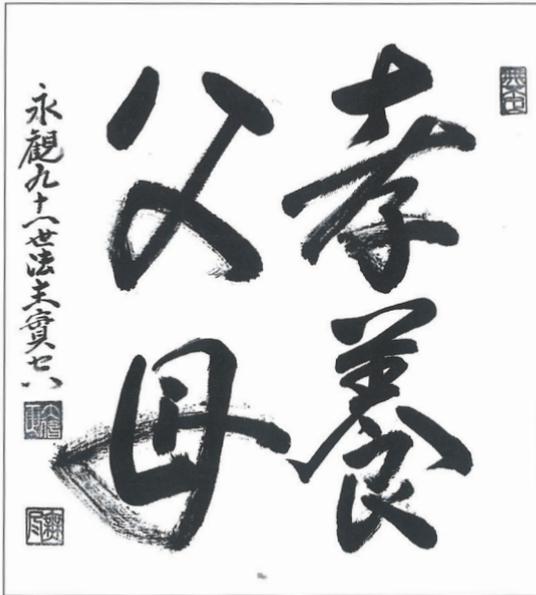
法然上人

「母に悲恩あり」とお経にあります。悲しい時に一緒に泣いてくれるのが母の恩である。それでは母の悲しみはどうしていたのでしょうか。

「おのれ、生ある間は、子の身に代わらんことを念う」、これが親心だと同じお経に説かれています。自分が親になって、代わりたくても代わることでできないつらさがよく分かります。だからこそ親の悲しみはより深いのでしょうか。

親の思いに心を致すと申し訳のなさばかりが募ります。何も返すことなどできません。ただただその心を阿弥陀様にお預けするだけです。

総本山 永観堂 禅林寺



右の色紙は曾長久我嚴昭統下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県たつの市在住小林和夫様に進呈します。ご希望の方は八力主で住所氏名・希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し二名に進呈。

## 還愚



### 罪悪生死の凡夫

「今までに嘘をついたことがありますか？」

あなたが重要な面接の場でこう質問されたら、どう答えるか。

これはストレス耐性をはかるための質問で、「ある」と答えた人はストレス耐性が高く、「ない」と答えた人は低いそうだ。嘘をついたことがない人間などいないから正直に話せば「ある」となるのだが、人前で体裁を取り繕う傾向がある人は「ない」と答える。ストレスに強いということは何かを我慢できるというよりも、辛い時に辛い自分を認め、落ち込んでいる時に弱い自分を認められることなのだ。

善導大師は、「私は生き死にに悩み苦しみ、すぐに罪を犯してしまうようしようもない凡人である」と述べられた。

まず自分の有り様を包み隠さずに見つめることが、ストレス過多な社会で暮らしていく道標になるのではないか。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我儼昭猊下のご染筆です。前々号の色紙は、滋賀県大津市在住白子紀依様に進呈します。ご希望の方は八ガまで住所氏名希望番号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

自策自励



「竹一竿」  
たけひとこ

「四朝高僧伝」

努力精進は  
しよとん

あくまで  
自己を磨くためのもの  
みか

他と競い合って  
勝ちを得るためではない

互いに

競い合えば

困難やリスクを背負い

「勝った」「負けた」と

心安まることがない

そのような

ギスギスした

競争社会から

距離を置いてみよう

「漁夫は生涯竹一竿」  
しよふ しょうがいなけひとこ

釣り竿一本で

心穏やかに

生きる方法もある

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我殿昭現下のご染筆です。前々号の色紙は、福井県越前市在住辻加代子様に進呈します。ご希望の方は八力まで住所氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

言  
辞  
施

## 「業報」

匿名性をいいことに、誹謗中傷、汚い言葉が仮想世界には蔓延している。

「ネットカルマ」という言葉がある。「カルマ」とは「業」のことであり、自身の行動に対して、後で必ずその報いはもたらされるということである。

ネット上に書き込んだ荒々しい言葉や極端な意見は、半永久的に残り続ける。過去の行いがむし返され、くり返し自身への攻撃となり、それが周りの家族や知人、さらには未来まで及ぶかもしれない。

お釈迦様はおっしゃいました。

「荒々しい言葉を言うな。言われた人々は汝に言い返すであろう。怒りを含んだ言葉は苦痛である。報復が汝の身に至るであろう。」

## 『法句経』

現在ほど発する言葉に気を付けなければならぬ時代はないのではないか。他者の心に寄り添う言葉、思いやりの言葉を発したい。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我巖昭猥下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県岡崎市在住竹村真由美様に進呈します。ご希望の方は八ガ主で住所・氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

### 因縁生起



「三世（過去・現在・未来）」

林業に携わる方から、「今、自分が仕事を続けられているのは、三代前の曾祖父のおかげです。」と聞いた。

山林から木材を切り出すには最低でも五十年、良材ともなれば百年の年月がかかる。先人たちのお陰様を木材を通して体感しているからこそその言葉である。

また続けて、「私の今の仕事が将来の山の担い手へとつながっていくのです」と。

仏教の時間軸は過去・現在・未来の三世で捉える。過去の因縁が現在の私をつくり、現在の因縁が未来の私をつくるという具合である。自分のいのちを超えた永い視点から物事を見ることで、現在の行動一つも変わってくるのではないか。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我儼昭親下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県高砂市在住田中浩三様に進呈します。ご希望の方は八ガまで住所氏名希望号数を明記の上下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

## 無執受



むさぼりの心

『俱舍論』には、三種の餓鬼が説かれている。

無財餓鬼、文字通り財産が全くなく全裸であり、何も食べることができない。

少財餓鬼、ほろ切れをまとい、残飯などではあるが食物を口にすることができない。

多財餓鬼、文字通り多くの財産を持ち、立派な家に住み、飽きるほどの馳走を食べることができ、飲食が得られず飢餓の苦しみを受けるのが餓鬼道であるのに、「なぜ？」と思うでしょう。

でも餓鬼道は、飢えるだけではなく、今あるものに満足できないことをあらわしてもいるのです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我徹昭猥下のご染筆です。前々号の色紙は、岐阜県不破郡在住栗田寛史様に進呈します。ご希望の方は八方まで住所氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

唯  
仏  
是  
真

唯  
仏  
是  
真

権力を持った者が  
「正しい」と言えばそれが正義となる  
本当にそれでいいのだろうか

ときに

動かぬはずのゴールポストが  
誰かの都合で

動いていたりする

やはり

世間はどこかおかしい  
個人も組織も国家も

我欲を捨て

こだわりを無くさねば  
平安はおとずれない

「唯仏是真」

聖徳太子の至言じっくり享受せねばなるまい

総本山 永観堂 禅林寺

総本山 禅林寺 法主 實心



右の色紙は管長久我儼昭猥下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県豊明市在住吉田真一郎様に進呈します。  
ご希望の方は八ガキで住所氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。



回向發願



還相廻向

毎日の子ども達の登下校の際に老人会の皆さんが見守りボランティアをしています。高齢にもかかわらず、雨の日も暑い日も寒い日も、毎日欠かさず見守っています。その中のお一人が、

「これまで色んな人に支えられて、助けられて生きてきた。今ある命を大事にして、残りの人生は、人の為に使いたい。」とおっしゃいました。

『發願文』というお経があります。そこには「阿弥陀様に導かれ極楽へ往生した後、再びこの世に還ってきて、苦しむ人々を救いたい」という願いが込められています。

これまでの人生で頂いたものを周囲に返していく。發願文の心を実践されているのですね。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我儼昭猥下のご染筆です。前々号の色紙は、京都府相楽郡在住小松絹恵様に進呈します。ご希望の方は八ガキで住所氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。



凡夫往生

凡夫往生

永観九上(世法主實也)



「凡夫往生」

浄土の教えは、修行によって煩惱を断ち切り仏に成るといふ教えではありません。私たちが凡夫であることを自覚することを大切にする教えです。

では凡夫とは何でしょうか。西山上人は『安心鈔』に「凡夫とは如何に妄念発さじとすれども、発るを凡夫とは云うなり」と仰られています。

どんなに心を修めても、瞬時に吹き上げる煩惱に苦しみ悩んだのが、法然上人その人でした。

法然上人は「われ浄土宗を立つる意趣は凡夫の往生を示さんためなり(醍醐本)」と仰られ、凡夫が往生することを説かれました。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我嚴昭猥下のご染筆です。前々号の色紙は、京都府京都市在住吉田ヒサ子様に進呈します。ご希望の方は八ガキで住所氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。



### 至心懺悔



#### 「懺悔」

紀元前のむかし

マウリヤ朝第三代アショーカ王は  
全インド統一を成し遂げた

しかし悲惨な犠牲を生んだことに  
心を傷め悔い改めて

深く仏教に帰依したという

そして非暴力と社会倫理に基づく  
慈悲の政治を行い

その理想を近隣の国々にも広く伝えた

宗教が魔力と権力をもてば  
脅威かつ暴力でしかないが  
懺悔によって生まれた

この仏教の慈悲心の波紋が  
今にも増して

世界くまなく届かんことを念ずのみ

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我巖昭猥下のご染筆です。前々号の色紙は、大阪府泉佐野市在住齊藤美智子様に進呈します。  
ご希望の方は八ガ主で住所氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

